

九重山の火山活動解説資料（平成 26 年 7 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 7 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2-①③）

噴煙活動は低調で、白色の噴煙が高さ 100m 以下で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2-②④）

火山性地震の月回数は 9 回（6 月：12 回）と少ない状態で経過しました。
火山性微動は 2006 年 10 月以降、観測されていません。

・地殻変動の状況（図 3、図 4）

GNSS¹⁾ 連続観測では、一部の基線（坊ガツルー牧ノ戸峠、星生山北山腹ー坊ガツル）で、わずかに伸びの傾向が認められます。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 九重山 噴煙の状況（7 月 29 日、上野遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 8 月分）は平成 26 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、独立行政法人防災科学技術研究所及び大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

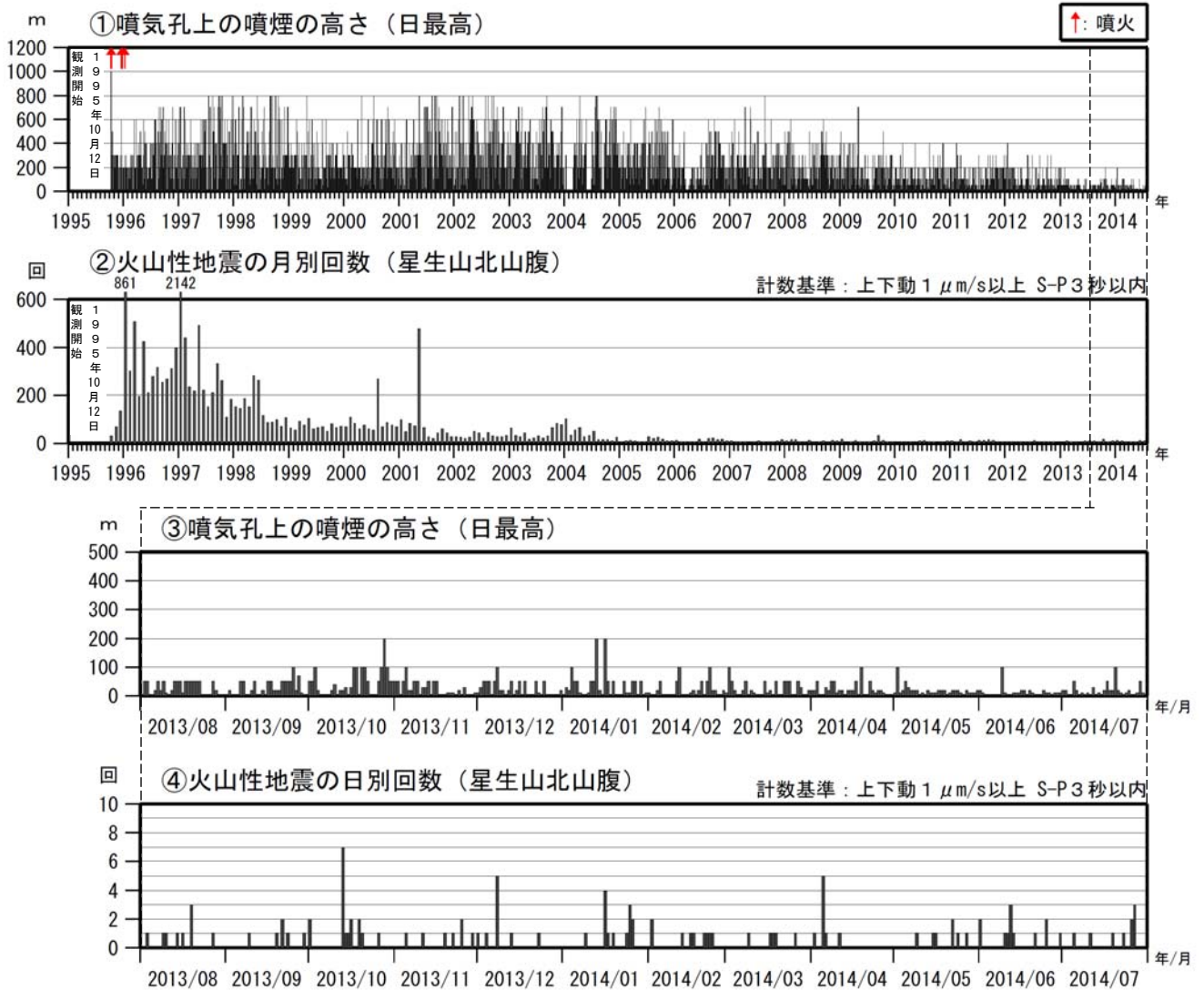


図2 九重山 火山活動経過図（1995年10月～2014年7月）

<7月の状況>

- ・白色の噴煙が高さ100m以下で経過しました。
- ・火山性地震の月回数は9回（6月：12回）と少ない状態で経過しました。

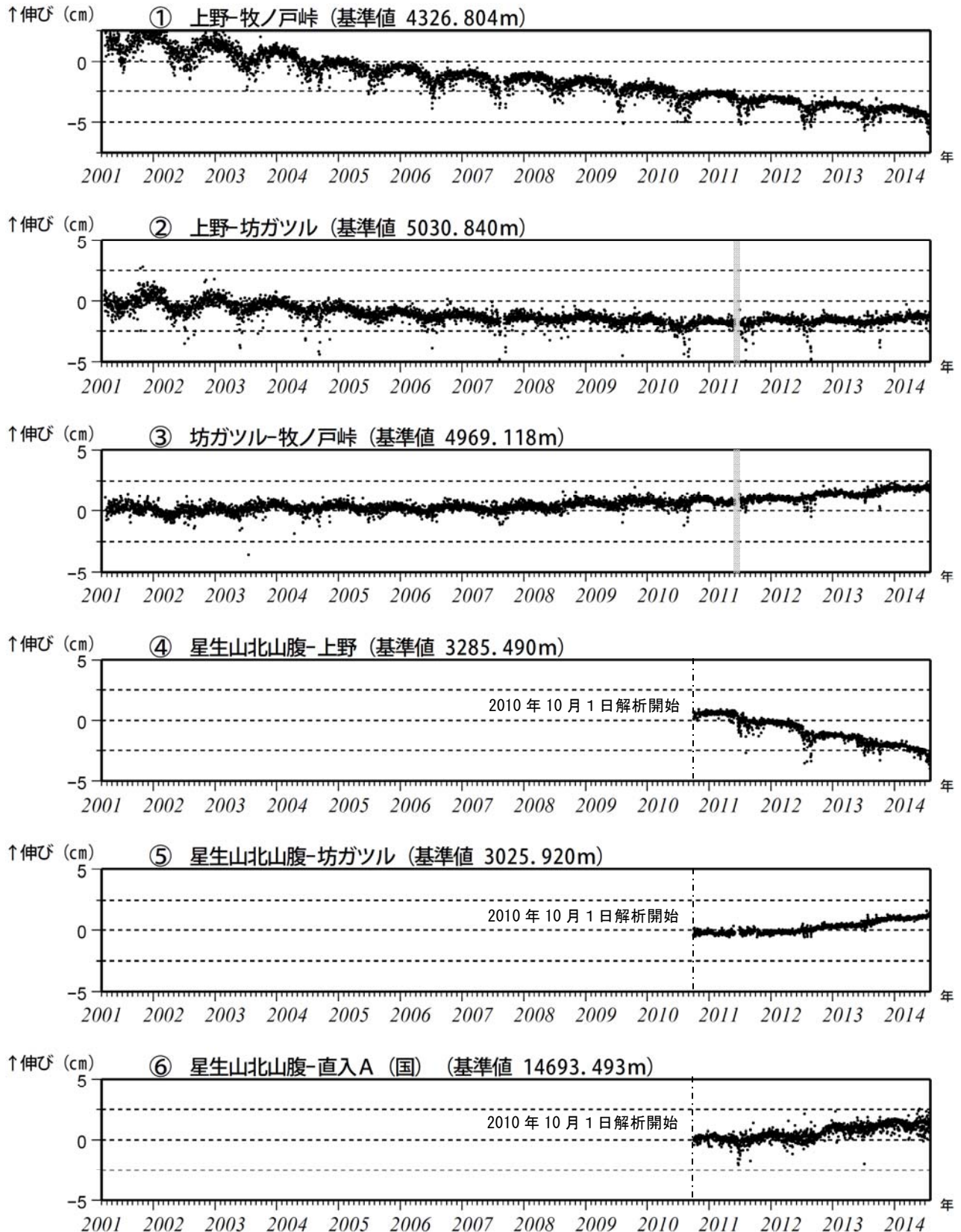


図3 九重山 GNSS 連続観測による基線長変化 (2001年3月～2014年7月)

GNSS連続観測では、一部の基線（坊ガツルー牧ノ戸峠、星生山北山腹-坊ガツル）で、わずかに伸びの傾向が認められます。

これらの基線は図4の①～⑥に対応しています。
2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
灰色部分は機器障害のため欠測を示しています。

(国)：国土地理院

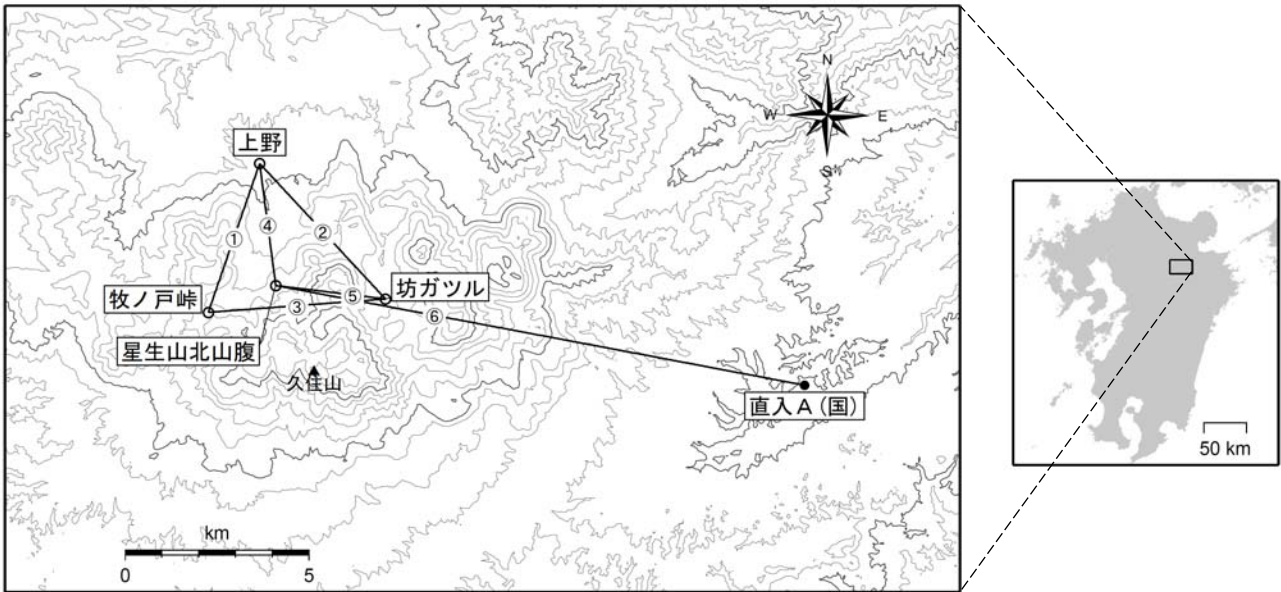


図 4 九重山 GNSS 連続観測点と基線番号

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院

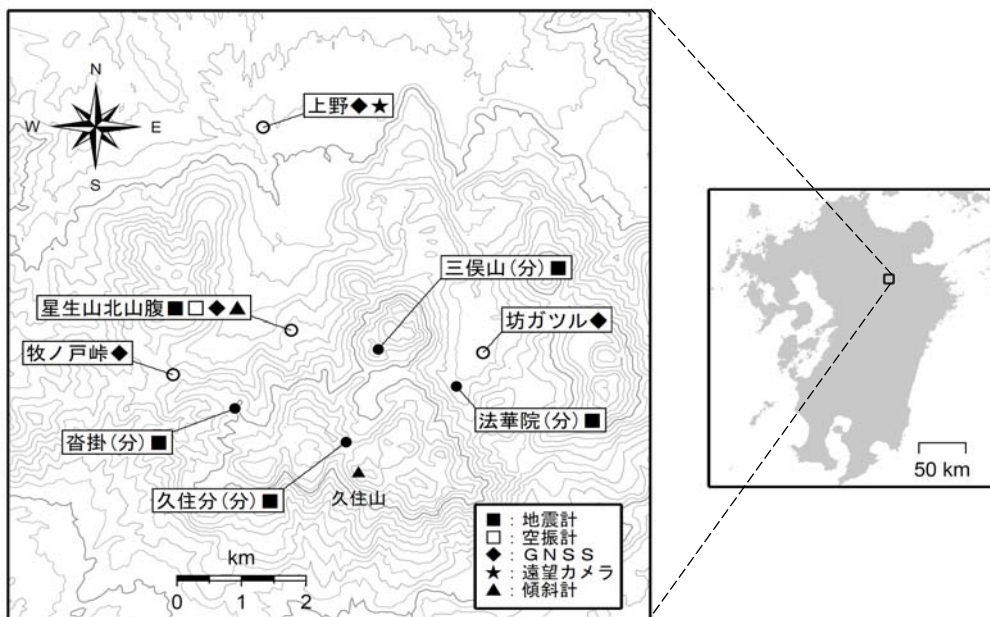


図 5 九重山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (分)：大分県